



2015-2016年度 広島北ロータリークラブ週報

世界へのプレゼントになろう

国際ロータリー会長 K.R.“ラビ”ラビンドラン 氏
国際ロータリーテーマ

Be a Gift to the World
世界へのプレゼントになろう

■会長 山下 正司 ■幹事 上河内 裕司
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

■本日の例会	2016年2月4日(木)	第2257回
国歌斉唱		
ロータリーソング	「奉仕の理想」	
来客紹介	親睦委員会	
会員誕生月お祝い		
寄付表彰		
会長時間		
幹事報告		
委員会・同好会報告		
ニコニコ箱		
卓話時間	『私の平和論』	上野 淳次 会員



第1回米山功労者 岡部会員
第2回米山功労者 鈴木会員 / 石田会員
第4回米山功労者 岩森会員
第5回米山功労者 中尾会員

前々回の例会 2016年1月21日(木) 第2255回

ロータリーソング	「R-O-T-A-R-Y」
来客紹介	親睦委員会
寄付表彰	
会長時間	
幹事報告	
委員会報告・同好会報告	
ニコニコ箱	
卓話時間	『年男の弁Part2』 合田 尚義 会員 山村 基成 会員 上田 修史 会員

寄付認証伝達



ポールハリス・フェロー 下前会員 / 岡部会員
マルチプル・ポールハリス・フェロー 菅 会員 / 山下会長
マルチプル・ポールハリス・フェロー(2回目) 土井会員 / 塩本(千)会員

会長時間 会長 山下 正司

皆さんこんにちは。今日の会長時間は私が年頭のあいさつで話をしました歴代会長の時間とさせていただきます。
まず第1回目として、18年前私が北RCに入会させて頂いた時の岩森パスト会長にお願い致しました。岩森会長は1998-1999年度を務められ、その年の副会長に私の推薦者の福田会員、幹事は森嶋パスト会長でした。ちなみに副幹事は山坂・庄子両パスト会長と最強の布陣であったように思います。とても懐かしい話が聞かさせて頂けるとしますので、皆さんも楽しみにして下さい。それでは岩森パスト会長よろしくお願ひ致します。

パスト会長時間 パスト会長 岩森 茂

今日は急遽 PM2.5のお話しをさせて頂きまます。
PM2.5とは粒径2.5μm(2.5mmの千分の1)以下の微粒子状物質のことで、お隣の中国では北京を中心として国家の深刻な社会問題となっています。化石燃料である石炭や石油から輩出されるPM2.5は人の呼吸により肺の奥深くまで入り込み、ガンなどを引き起こす確率が非常に高くなります。
話が少し変わりますが PM2.5と同じような有害な微粒子としてタバコの煙があります。
ちなみにみなさんはスモークフリーとスモークキングフリーという言葉の意味の違いをお分かりでしょうか？
スモークフリーとは「煙から解放されている、煙がない」状態のこと



を指し、スモーキングフリーとは「煙を出してよい」状態のことを指し、まったく逆の意味のことです。かつて日本の旅行者がオーストラリアでバスから降りてフリースモークの看板の下で喫煙していたら大変怒られたそうです。私は現在タバコフリー社会の実現に向けて広島県禁煙支援ネットワークの世話人をやっており、本ネットワークオリジナルのブルーバッジを本日持ってきておりますので取りに来てください。また喫煙は命を縮めるだけですのでやめましょう。また今日のために作成した原稿は、機会があれば卓話時間で披露したいと思います。以上です。

幹事報告

幹事 上河内裕司

- *次週28日(木)は夜間例会に変更とし、「3RC合同例会」を開催します。
- *広島14RC合同懇親ゴルフ大会が、4月29日(金・祝)に開催されます。多数のご参加をお願いします。
- *例会終了後、臨時理事会を開催します。
- *2月例会予定表(BOX配布)

委員会報告

- 財団プログラム委員会 丸本副委員長
上河内幹事より香典返しということで、多額の寄付をロータリー財団に頂きましたので、ご披露いたします。
- 会報IT委員会 増田会員
週報作成に伴う原稿提出の協力をお願いします。

同好会報告

- ゴルフ同好会 久保(豊)会員
1月成績発表
優勝 岡田 昌樹 会員
登山同好会 本田(善)会員
2月20-21日 恐羅漢冬遊びのご案内
釣り同好会 吉永会員
2/5冬季例会のご案内



ニコニコ箱

ニコニコ委員会

- 《自主出宝》
山下(正)会長★・東副会長★ 先週会長時間で皆さんにお願いいたしました、大地震から未だ復興が思うように進んでいないネパールへの使い捨てカイロを送るプロジェクトに多くの会員のご協力をお願いいたします。
- 岡部会員・合田会員・佐々木会員 二井本会員、東雲へ本社移転おめでとうございます！ますますのご発展お祈りいたします
- 土井会員 ポールハリスフェローの表彰を頂きました。ありがとうございます。
- 山本(忠)会員◇ 1月18日、私の大先輩 松本瀧蔵さんが野球殿堂に入りました。広陵、明大、アリカの大学を卒業され、広島から衆議院に出られ、英語が出来る事でアリカとの政治関係で活躍されました。甲子園球場も戦後アメリカが使用の為、日本を遣えませんでした。活躍され、甲子園球場が日本に「還って来ました」。その後、現在の高校野球大会が出来る様になりました。素晴らしい先輩です。
- 中尾会員 山本忠男さん、この度、松本瀧蔵氏が野球殿堂入りされましたが、その報道の中で、山本さんが広陵野球クラブの会長として喜びのコメントをされていました。山本さんの先輩である松本市の慶事おめでとうございます。
- 合田会員・山村会員・上田会員 本日、「年男の弁」を話させて頂

- きます。よろしくお祈りします。
- 藤田会員 妻の誕生日に素敵な花をありがとうございました。大変喜んでいました。
- 岡田(昌)会員 多打喜会1月例会にて優勝させて頂きました。当日は久保豊年代表幹事の突然の腰痛欠席により、目に見えないプレッシャーから解放され、良いスコアを出すことが出来ました。久保豊年さん、腰痛お大事になさってください。
- 久保(豊)会員 1月の多打喜会、突然の腰痛のため、前日キャンセルという失礼をいたしました。しっかり養生します。
- 小河会員◆ 久保雅史さん、奥様、講師の森山先生のお陰で長男が第一志望の高校に合格できました。大変ありがとうございました。ちなみに本人の苦手な英語で7割以上出来たそうです。
- 塩本(能)会員 早退します。すみません。

当日計 38,000円(内、web23,000円) 累計 912,400円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

卓話時間

『年男の弁 Part2』

合田 尚義 会員(S43年生まれ)

合田です。今年48歳になります。40歳を過ぎた頃から年を追う毎に、自分の実年齢にギャップ、違和感を感じてきておりますが、今年48歳の年男となり、また今年、当社、合田産業(株)が昭和31年に岩国で実質的な創業をしてから60年、そして昭和51年に現在の合田産業(株)の会社設立をしてから40年という節目の年にもあたり、これまでの人生の振り返りと今後の生き方について、少し考えてみました。

先程に申し上げました通り、当社は昭和31年に父が山口県の岩国で創業し、私は二代目となります。しかし私は次男でありまして、当初は家業を継ぐ予定は全くなく、大学も理系の工学部に進学し、将来は技術者の仕事をしたいと考えておりました。

また、小さな頃から父の姿を見ておまして、私が感じていた父の仕事のイメージは、正しく「おんどりゃあ、すどりゃあ」の世界、自分とは真逆の世界、とてもじゃないけど、自分には逆立ちしても無理な世界だと思っておりました。ですから「ああ、自分は次男で良かった。あんな恐ろしい仕事、とてもじゃないけど自分には無理や。」と思っておまして、次男である自分の立場にホッとしていたのが正直な所です。

しかし、私の大学卒業が間近に近づき、大学院への進学が決まりました頃、色々と家庭内の事情に変化があり、急遽、突然、父から私に「会社はお前が継げ」という話がありました。

私にとりましては正しく青天の霹靂、元々、小さな頃から自分には絶対に向いていない仕事、自分の適性とは180度反対の世界だと思っておりましたので、会社を継ぐかどうか非常に悩みました。

しかしながら、父親が作り上げた会社、その会社を父親から継げと言われれば、それは正しく「YesはあってもNoはない」との思いから、迷い抜いた挙句、目を瞑って清水の舞台から飛び降りる覚悟で家業を継ぐ決心をしました。

学校を卒業してから東京で4年弱、社会人修行をしました後、28歳で広島に戻り、合田産業に入社を致しました。

しかし合田産業への入社、家業を継ぐことは元々、開き直りと勢いだけでの決断でしたので、実際に入社してから後もずっと「ああ、自分の生きる世界とは違うな。」という違和感や不安感を抱え続けておりました。現在は入社をして約20年になり、多少は麻痺しつつあるのかもしれませんが、「自分に合った世界ではない」という思いは今でも正直な所、基本的な部分では全く変わっており



ません。

そして平成13年、私が広島に戻って4年が過ぎた頃、私はまだまだ社内の各部署を研修中のような状況でありましたが、突然に父がくも膜下出血で倒れ、その10日後に急逝するという事態となりました。そうした状況の中、急遽、何の心の準備をする間もなく、32歳の時に社長職を継ぐこととなりました。

社長に就いた当初は非常に悩みました。現場の経験も営業の経験も圧倒的に不足し、理解もできていないのに、いきなり社長という立場に祭り上げられ、社長としてそれなりに振舞い、また役目を果たしていく事を求められる状況、ましてや社内で圧倒的な存在感であった創業者社長が突然にポツカリと大きな穴を開けて消失してしまい、正直、当初は、太平洋のど真ん中に一人、放り投げられたような気持ち、途方に暮れる気持ち、孤独感に押しつぶされそうな気持ちでした。とにかく不安でいっぱいでした。

しかし、自分が社長になりました後、自分に指示をしてくれるべき立場の人が誰もいなくなり、途方にくれて何も出来ないような状態であっても、会社は特に大きな問題もなく、日々、淡々と回って行きました。

最初はとても不思議な気もしました。大きな存在であった創業者社長が急逝したというのに何故、会社に大きな変化がないのか？一体、父の社長としての存在とは何だったのだろうか？父がいなくても会社には関係なかったのか？・・・最初は狐につままれたような感じでした。しかし、よく考えてみれば、父は多くの頼りになる番頭さんを残してくれていました。

その事に気付いた時「ああ、組織とはこうあるべきなんだな」と自分は強く実感しました。企業にとって、いかに人材が大切であり、組織としての総合力が大切なものか、また同時に、社長が果たしていくべき役割というものについても少しだけ垣間見えた様な気がしました。

勿論、社長の立場の人間が、現場の隅から隅までよくわかっているに越した事はないと思います。しかし、あえて必ずしも絶対的な必要はないのではないのか。安心して各部署を任せられるスタッフを育て、組織をまとめていくことこそ、社長の最も大事な仕事の一つではないだろうかと自分に言い聞かせ、経験不足・年齢不足である自分自身へのコンプレックスから開き直すようにしました。

私には今、中学2年、14歳になる息子がおります。彼が将来、会社を継ぐことになるかどうか、現時点では何も決まったことはありません。しかし、誰が継ぐにせよ、私がこれからやるべきことは、私の父が私に多くの番頭さんを残してくれたように、私も代替わりする時には次世代のための番頭さんをたくさん残しておくこと、これが私の一番大切な仕事であると思っております。

会社の代表者は何をすべきなのか、これは生涯、勉強し続けなければならない事ですが、本当に幸い、広島北RCには手本となる多くの人生の先輩、多くの経営者の方がおられます。これからも一生懸命、学ばせて頂きたいと思っておりますので、今後とも、よろしく願い申し上げます。

以上で「年男の弁」とさせていただきます。ありがとうございました。

山村 基成 会員(S43年生まれ)

申年の年男ということで、スピーチを拝命いたしましたのでがんばってお話させていただきます。今年で、4回目の48歳の申年で会員の合田さん、上田さんとおなじ年になります。また、常日頃より、会員の先輩方や会員の皆様には私のクリニックを利用いただいたり、ご紹介いただき感謝いたしております。



早速ですが、人生経験豊富な会員の皆様の前でお話できるのは、眼の話しかございませんので、時々質問される眼の話についてこの機会にお話させていただきます。

最近良く質問されるのに、白内障手術で挿入される多焦点眼内レンズの話があります。

多焦点眼内レンズとは、白内障手術で水晶体の中身を取りだしたあとに入れるレンズのことで、遠くと近くがみえるレンズのことで、従来のレンズでは、遠くか近くのどちらかしか見え、普通は遠くに合わせることが多いですが、近くを見るときにめがねが必要でしたが、多焦点眼内レンズに関しては、遠くと近くの二焦点に関してはほとんどの方がめがねを必要とされません。ただ、中間距離については近づいて見ていただくか、離れて見ていただくか眼鏡が必要になります。ゴルフをしたり、パソコンをしたりアクティブなシニアの方にはお勧めですが、このレンズが向かない方もいらっしゃいます。どうしても、ひとつのおおよそ直径6ミリの光学系のレンズを遠くと近くに分ける為、コントラストの低下がじゃっかん生じる為、繊細な色彩を職業にする建築家やデザイナーの方や、歯科医、神経質な方や視神経疾患や網膜の病気の方や、夜間よく運転する方には慎重な適応判断となってきます。値段については、大体自費診療で保険が利きませんので両眼で65万円から80万前後です。私のところでは、ただいま厚生労働省の先進医療認定施設のただいま申請中ですが、保険の先進医療特約にご自分でご加入されているかたは、先進医療認定施設で手術代がでますので保険屋の方とご相談してください。ただ、多焦点眼内レンズといっても魔法のレンズではなく、所詮若いときの人間のレンズにはおおよびません。また、遠方か近方しかみえない単焦点眼内レンズも進化しており、見え方の質では多焦点眼内レンズより良いレンズです。

では、眼の中に眼内レンズとは？眼内レンズが開発されたのは第二次世界大戦のイギリス軍の戦闘機が空中戦で、操縦席のアクリル製の窓がわれその破片がパイロットの目に入る事例が頻発し、それを診察されましたリドリー博士が眼に炎症製が少ないことに注目され1949年に眼内レンズを開発されました。平成9年頃に、私もシアトルのアメリカ白内障学会にかばん持ちで同行した際に、世界の眼科の偉人の紹介でいきなりリドリー博士が車椅子で会場にご登壇され、会場中がスタンディングオベーションで拍手に包まれている場面に遭遇できましたのは幸運でした。研修医明けぐらいなのでよくわからず、アカデミー賞のような雰囲気にも飲まれ感激しておりました。

当時のレンズは硬くて大きくおりまげたりできず、まだまだの完成度でしたが、現在の主流は柔らかいアクリル製の折り曲げられるレンズになった為、傷口が2.5ミリぐらいの小切開になり、現在日本国内においても年間90万件も行われるようになった、全世界でもっとも大量かつ安全に行われている人工臓器手術です。もちろん、人の顔がみんな違うように左右でも差があるようにすべてがうまくいくわけではありません。じゅうとくなものから、かるいものまでありますがじゅうとくな合併症は非常にまれで、失明にいたることはほとんどおきないといっても大丈夫でしょう。

上田 修史 会員(S43年生まれ)

早いもので、今年4回目になる年男です。

申年生まれの性格は、人気もので、どこへいっても器用に人付き合いができるタイプ。磨けば光る才能を持ち、頭の回転が速く、行動力があるので、努力を怠らなければ大成するそうです。



クラブ運営方針

楽しみながら 実践しよう

意外と世話好きな面もあって憎めない性格です。12年後は、還暦です。それまで皆さんのように健康に気を付けていきたいと思えます。今年も、よろしくお願いします。

■出席報告 出席委員会

2016年1月21日(木) 会員数 88名
出席 68名 欠席 20名 来客 0名
1月7日例会出席率 100%

前回の例会 2016年1月28日(木) 第2256回

【広島陵北・広島安佐・広島北3RC合同例会】

国歌斉唱

ロータリーソング 「奉仕の理想」

ホストクラブ会長挨拶

各クラブ幹事報告

ホストクラブ会長挨拶 会長 山下 正司

皆さん今晚は、今日は広島陵北、安佐RCを迎えての親・子・孫3RCの合同夜間例会となっております。今回は北RCのお世話と言う事でホテルグランヴィアによるこそお越し下さいました。

日頃はクラブ間であまり活発に交流と言う訳にも行っておりませんが、陵北 RC にはいつもガバナー杯野球大会でお手伝い頂き改めて感謝申し上げます。又今年度は陵北の川中会長のお誘いで3クラブの合同ゴルフコンペを実施して頂き、今年に入っても是非2回目をと声が掛かるのを楽しみにしております。

さて、私は今年度会長としてクラブ運営方針を「楽しみながら、実践しよう」とさせて頂いておりますので、陵北・安佐RCの活動に興味を持って「ロータリーの友」誌を見ております(安佐 RC の記事も確認しています)

折角3RCが集まるのですから今日は色々な角度からそれぞれのクラブの情報交換を各テーブルで活発に自由に話が出来たらと思ひ昨年北RCで実施しました3つの大きな事業について報告したいと思いますので興味を持って頂けたら各委員長に詳しくはお問い合わせ下さい。北RCでは去年まず始めに前年度より継続しております、

1) がんの子供たちへの支援として坪内理事・浜本委員長を中心として霞ファミリーハウスへの備品贈呈を実施しこれは杉町理事・下川会報委員長の準備で中国新聞にも取り上げられRC活動の大きな広報になったと思ひます。

2) 今年で第3回目となるタイへの浄水器の設置事業ですが、坪内理事・下前委員長のもと国際奉仕委員会にて現地へ赴き交流をしております。

3) 財団プログラムの岡部理事・佐々木委員長とEND POLIO NOWの真っ赤なTシャツを着て約30数名で広島平和国際マラソンに参加し全員が無事完走し、又走れなくても多くの声援を送ってくれた会員と共に広く広報活動が出来たのではないかとと思ひます。

4) 最後に、今年に入って急遽、北RCの皆さんにお願いしているのですが、昨年起きたネパールの大地震で未だに避難生活を送っている被災者の方たちがこの寒さに耐えきれず、命を落とされていると言う事です。そこで現地より使い捨てカイロの支援がほしいと言う事です。陵北・安佐RCの皆さんにも検討(金銭的支援)頂けるとありがたいと思ひます。

急な話で申し訳ありませんが、この様な事も親子孫だからこそできるものと思ひお伝えした次第です。今日は石田理事・越智親睦委員長を中心に合同懇親会を企画して頂きました。

どうぞ最後までゆっくりとご歓談頂きますようお願いと報告をして会長の時間を終わります。

懇親会



広島陵北RC 川中会長

広島安佐RC 長神会長



また来年お会いしましょう。

